

京童部ハ高平太ト云テ咲シヅカシ、其ヲ耻シトヤ思給ケン、扇ニテ顔ヲ隠シ骨ノ中ヨリ鼻ヲ出シテ、閑道ヲ通給シカバ、京童部ガ先ヲ切テ、高平太殿ガ扇ニテ鼻ヲ挾タルゾヤトテ、後ニハ鼻平太々々々トコソイハレ給シカ、去ドモ故刑部卿殿近江國水海船木ノ奥ニテ、海賊皆人ヲ被搦進タリシ、勳功ノ賞ニ依テ保延ノ比カトヨ、御邊十八歟九歟ニテ、四位ノ兵衛佐ニ成給タリシヲコソ、人々トシト申シガ、其ガ今太政大臣ニ成タルヲコソ、下觴ノ過分トハ申ベキ、此條ハ爭カ諍給ベキト、高聲ニ門外マデ聞ヨト云タリ。

〔徒然草〕あらはるゝをもかへりみず、口にまかせていひちらすは、やがてうきたるごとくきこゆ、又我もまことしからすとはおもひながら、人の云しまゝに、鼻のほどおこめきていふは、其人の空ごとにあらず、げにくしく所々うちおぼめき、よく忘らぬよし、て、さりながらつまづまあはせて語る空ごとは、おそろしき事なり、わがため面目あるやうにいはれぬるそらごとは、人いたくあらがはず、

〔碧山日録〕應仁戊子年二四月二十三日壬子、赴於木幡守門吏語云、前日有一劓婦不知何從而來、引邑中之一小兒、於隙地剉其鼻而補我之闕、兒不勝痛苦、大號叫、其父母驚走而悲、不知婦之所往、父追捕之、睹其鼻雖大小不相稱、煉藥著之、父遂奪而返其子、爛腐而落、乃繫以大械、沈殺於深瀦云、

〔陰德太平記〕尼子晴久殺新宮黨事

晴久ノ右筆ニ、末次讚岐守トテ、極メテ鼻ノ高大ナルアリテ、孔子ノ隆鼻、高祖ノ隆準ナド云ニモ過テ、鼻孔遼天ニ其息雷ヲナセリ、末次或時富田ノ城ヘ出仕シテ廣縁ニ畏リケルニ、式部大輔折節登城シテ、廣縁ヲ過ラレケルガ、末次ヲ屹ト見テ、高クテ可宜汝ガ武名ハ左モ無テ、由ナキ鼻ノ高サヨトテ、大ナル指指出シ、無手ト撮テ被捻タリ、サシモ大力ノ仕業ナレバ、末次鼻碎ケ衄血流レテ絶入シ、頗テ大ニ腫マドヒテ百日餘リ病痛セリ、